

## I. 令和6年度 重点目標への評価

### 1.感染症対策強化

感染症訓練は計画通り1年間に2回実施し、コロナウイルスやノロウイルス感染者が出た場合の初動について確認した。

訓練以外でも入居者の発熱時の対応が施設マニュアルに沿っているか、その都度確認し、看護師と介護職で連携をとり感染症拡大防止に努めた。

ひだまりではコロナウイルスに2名の入居者が感染したが、それ以上感染者が増えることなく収束することができた。

### 2.防災対策の推進

訓練を年3回実施し、災害発生した時の動きの確認した。訓練を通して、足りないものなどに気づき、準備することができた。

BCP発動時の机上訓練も実施し、今のBCPの不十分なところの見直しをしている。

### 3.身体拘束・虐待防止

身体拘束・虐待に関しては委員会の中で、施設の中の不適切と思われる事例について検討をし、改善に努力した。施設の中の事例だけではなく、他施設での事件となっている拘束・虐待の事例についても何がいけなかったのか、なぜそのようなことが起きてしまったのか、私たちの施設では起きないようにするためにどうしていきべきかを話し合ってきたので今後も職員それぞれが身体拘束や虐待についての知識がもてるように続けたい。

### 4.口腔衛生管理

令和6年度から年に2回口腔衛生に関する目標を立てて、その目標に対して歯科医師や歯科衛生士から助言を受けて口腔ケアを実施した。歯科衛生士からの助言についてはユニット会議などでも議題に上げ、全職員が周知できるようにした。

### 5.ICT導入と職員の働きやすさへの取り組み

ICT導入についてどんなものが必要なのか検討することはできた。

人材不足のため働きやすい勤務体制を整えることもできなかったが、少ない職員でも入居者の生活に影響がないように考えて対応することは出来た。

介護職員の負担軽減と入居者に関わる時間を増やすことを目的に、掃除やリネン交換などの仕事専門の職員を配置した。

## Ⅱ. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)

### 1. 利用者の状況(令和7年3月31日現在)

#### (1) 年齢構成

単位: 人

	男性	女性	全体
60～64歳	0	0	0
65～69歳	0	0	0
70～74歳	0	0	0
75～79歳	1	1	2
80～84歳	2	5	7
85～89歳	3	7	10
90～94歳	1	7	8
95歳以上	2	7	9
	10	30	40

年度末在籍者数: 40 名

平均年齢

単位: 歳

男	87.9
女	90.7
全体	89.3

#### (2) 要介護度別内訳

単位: 人

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	0	0	9	21	10	40

要介護度平均: 4.0

#### (3) 日常生活動作の状況

令和7年3月31日現在、在籍者の調査結果

##### 〈食事動作〉

単位: 人

	自立	一部介助(声かけ)	全介助	胃ろう	合計
	29	8	3	0	40

※胃ろうの注釈は経口と胃ろう併用の方

##### 〈入浴動作〉

	自立	一部介助(声かけ)	全介助	合計
	0	18	22	40

##### 〈排泄動作〉

	自立	一部介助(声かけ)	全介助	合計
	5	10	25	40

##### 〈歩行動作〉

	自立	一部介助(声かけ)	車椅子使用		合計
			自操	介助	
	3	5	15	17	40

## (4) 家族状況

## 身元保証人

	子ども	配偶者	子の配偶者	兄弟	甥姪	親戚	後見人	孫	なし	合計
男性入居者	5	3	0	1	0	0	0	0	0	9
女性入居者	29	0	1	0	0	0	1	0	0	31
合計	33	2	2	1	0	0	2	0	0	40

※後見人は保証人がいる入居者も含む

## (5) 保険者状況

南足柄市	18	開成町	5	山北町	5	松田町	5
逗子市	1	小田原市	6				
						合計	40

## (6) 負担限度額認定対象者

1段階	2段階	3段階①	3段階②	合計
0	3	3	11	17

## (7) 入退居状況

入居	入居前状況						
	自宅	老人保健施設	病院(うち療養型)	軽費	グループホーム	ロングステイ	有料 特養
11	3	2	1(1)	1	0	2	2 0

退居	退居内訳			
	永眠	長期療養	他施設	自宅
10	5(4)	2	3	0

※永眠( )内の人数はターミナルケアに同意の上、施設で看取った人数

令和6年度は10名が退居し、11名の新規入居者を受け入れた。

退居内訳の他施設への転居理由は、「介護度が下がり有料老人へ転居」「リハビリを受けたいとの希望で老人保健施設へ転居」「料金の関係で多床室のある草の家へ転居」となる。

退居者の数は前年度と変化なく、入退居の動きは比較的緩やかに経過した。

## (8) 面会者状況

面会者数はおよそ平日6人、土日祝10人程度だった。

面会時間は9時30分～11時、13時30分～17時の面会時間30分となっているが、面会時間を大幅に超えるご家族がおり、声かけをしてお対応している。

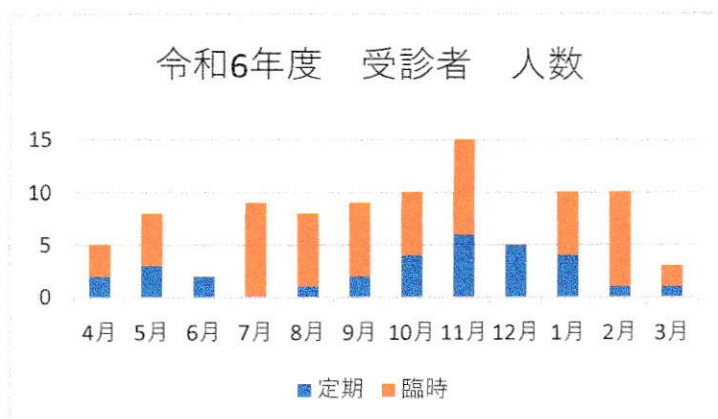
人数制限をしないが、人数が多い時には会議室などを使用していただくなどの対応もとっている。



(9)受診記録  
月別受診者数

受診者 人数 ※【 】は前年度

	定期	臨時	総数
4月	2【3】	3【5】	5【8】
5月	3【7】	5【5】	8【12】
6月	2【4】	0【3】	2【7】
7月	0【12】	9【7】	9【19】
8月	1【8】	7【5】	8【13】
9月	2【6】	7【2】	9【8】
10月	4【6】	6【13】	10【19】
11月	6【5】	9【4】	15【9】
12月	5【4】	0【3】	5【7】
1月	4【5】	6【9】	10【14】
2月	1【0】	9【5】	10【5】
3月	1【7】	2【3】	3【10】
合計	31【66】	63【64】	94【130】



【月別受診者数について】

前年度と比較し、受診者総数は減少している。これは往診日問わず、嘱託医へ早めの報告・相談が出来ていたことや、施設内で対応可能な範囲は多職種と協力し行っていた事が要因であると言える。また、臨時受診に関しては前年度よりも増加している月が多いが、嘱託医と相談し重症化する前に対応するため、必要な受診であった場合が多く、結果、入院数や入院日数に影響があった。

病院別受診者数

40	大内病院
13	飛驒クリニック
11	竹田整形外科
9	おぎの整形外科
5	小田原市立病院
4	安藤眼科
3	足柄上病院
2	いずみ耳鼻科
2	くまざわ皮膚科
1	柴田産婦人科
1	曾我病院
1	フジ虎ノ門病院
1	まごころクリニック
1	川上医院

病院名	R5年度	R6年度
大内病院	45	40
北小田原病院	0	0
足柄上病院	27	3
その他の総合病院	12	5
その他の専門病院や医院・クリニック	47	46
合計	131	94

【病院別受診者数について】

病院別にみると、やはり大内病院が多い。その背景として、協力医療体制をとっていることや内科以外の他の専門科の医師の増加がある。ただ、整形外科や耳鼻科、産婦人科等の専門科は大内病院での対応が難しいため、他の病院へ受診する事があった。次いで、受診数が多い飛驒クリニックは毎月定期で通院されている方がいることが要因であると考えられる。

## 受診科の割合

受診科の内訳						※【 】は前年度
月	内科	外科	精神	皮膚	整形	その他
4月	2	0	0	2	0	1
5月	3	0	1	0	1	3
6月	1	0	0	0	0	1
7月	7	0	0	0	2	0
8月	4	0	0	0	4	0
9月	6	1	0	0	1	1
10月	4	0	0	0	5	1
11月	9	0	0	2	4	0
12月	2	0	0	0	3	0
1月	6	0	0	0	3	1
2月	6	1	0	0	3	0
3月	1	0	0	0	1	1
合計	51【59】	2【45】	1【0】	4【1】	27【30】	9【26】
比率	55%	2%	1%	4%	29%	9%

その他受診科の内訳					
月	眼	泌尿器	形成	婦人	耳鼻
4月	1	0	0	0	0
5月	1	0	0	1	1
6月	0	0	0	0	1
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	1	0	0	0	0
10月	0	1	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	1	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	1	0	0	0	0
合計	4【20】	1【6】	1【0】	1【0】	2【0】

### 【受診科の内訳について】

受診は前年度に続き内科が最も多く、次いで整形外科、皮膚科となっている。内科は検査・治療のための受診だけでなく、その結果によってご家族と嘱託医が今後の治療方針を話し合う場として受診をすることもあった。整形外科は前年度とあまり差がないが、入院や入院後フォローのための受診より、肩・腰・膝痛等の通院に至らない程度であったり、本人希望での受診が多かった。皮膚科は大内病院以外に受診することが多かったが、嘱託医より大内病院の形成外科で診ることができるとの話があった。そのため、今後は受診科目の変化が見込まれると考えている。

### 嘱託医往診による施設での死亡診断数

#### 死亡診断数 嘱託医

4月	0	10月	0
5月	0	11月	1
6月	0	12月	1
7月	1	1月	1
8月	0	2月	1
9月	0	3月	0
合計		5名	【4】

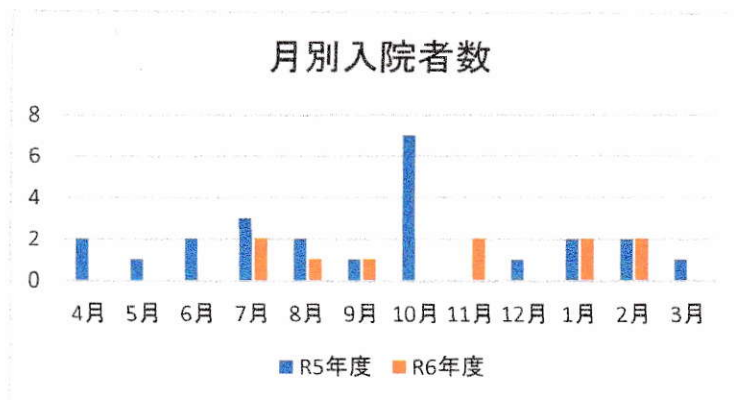
### 【嘱託医往診による施設での死亡診断数について】

前年度と比較し、死亡診断数自体は大差がない。ただ、ご家族やご本人がひだまりで最期を迎えたいと希望される方が増加している。中には退院して数日でご逝去される方もいた。その際、退院前に多職種でカンファレンスを開催し、ケアやサポートについて検討することで、短期間でも充実した生活が送れるよう整えることもあった。徐々にターミナル対応者が増加しているため、今後ご本人とご家族の希望に合わせ、最期のサポートができるよう、多職種と話し合うことが必要と考えられる。



# (10)入退院記録

月	R5年度	R6年度
4月	2	0
5月	1	0
6月	2	0
7月	3	2
8月	2	1
9月	1	1
10月	7	0
11月	0	2
12月	1	0
1月	2	2
2月	2	2
3月	1	0
合計	24	10

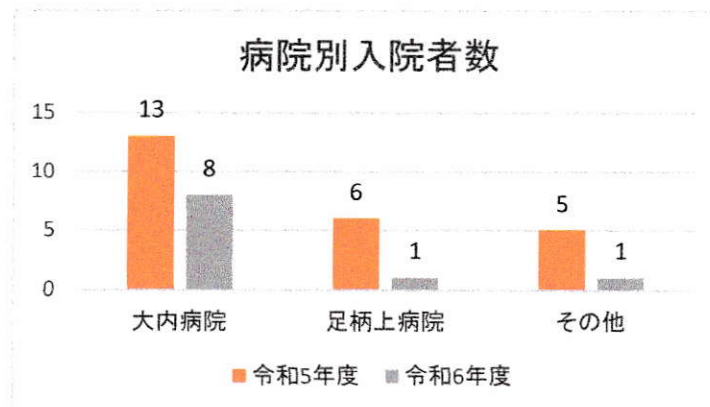


## 【月別入院者数について】

前年度と比較し、入院者は半分以上減少している。要因として、状態が重症化する前に臨時受診が出来ていた事があげられる。施設内で状態変化があった際、受診の有無に関わらず囑託医へ報告し、事前に指示をもらうことで、重症化の抑止、受診や入院の相談ができたことが影響し、入院者数を抑えることが出来たと推測できる。

## 病院別入院者数

病院別入院者数		
病院名	令和5年度	令和6年度
大内病院	13	8
足柄上病院	6	1
その他	5	1
合計	24	10



## 病院別入院者数について

前年度に続き、協力医療体制をとっている大内病院が最も多かった。足柄上病院、その他(小田原市立病院)は救急搬送後に入院となっており、それぞれ1件ずつしかなかった。救急搬送した理由として、夜間であること、専門性の高い病態であったことがあげられ、大内病院では入院加療が難しいケースだった。

## 年間の入院日総数

令和5年度	令和6年度
580日	133日

## 入院日総数について

前年度と比較し、入院日総数はかなり減少している。これは単に入院者数が減少している事だけが理由ではない。ひだまりでは、多職種が積極的に入院先の病院へ状態確認や退院の話をすすめたり、施設内で退院前の話し合いを活発に行っている。それにより、退院時の状態把握ができていたり、職員の不安軽減が図れる等のメリットが生じ、受け入れ体制がしやすかったため、早期退院へ繋げることが出来た。実際、早期退院であっても再入院になってしまう方はいなかった。今年度は最長で21日間、最短で7日間での退院となり、平均入院日数も15日間前後と、前年度と比較してもかなり短期間となっていた。また、長期療養の判断も速やかに行えたことで、他施設への転居もスムーズに出来たことは、他方面でも良い影響をもたらしたと言える。

# (11)歯科往診

	令和5年度	令和6年度	平均人数
4月	36	42	10.5
5月	22	31	6.2
6月	23	35	7.0
7月	21	25	8.3
8月	23	23	11.5
9月	24	42	10.5
10月	24	33	11.0
11月	29	33	11.0
12月	29	40	10.0
1月	29	30	7.5
2月	25	27	9.0
3月	29	33	6.6
合計	314	394	8.8

## 歯科往診について

ひだまりの歯科往診は小田原歯科診療所であり、前年度から引き続いて行っていた。口腔ケアが主であるが、抜歯や義歯作成も多かった。ただ、令和6年度から口腔衛生加算の関係で口腔ケア・マネジメント計画書を作成。それを基に歯科からの指導内容を日頃のケアに役立てられていたこともあり、職員全体の口腔ケアへの意識が高まっている。そのため、職員が歯科依頼を出す事が増加していることが、歯科往診人数の変化と関係している可能性が高い。次年度は歯科が変更となるが、今後も変わらず職員の意識を高め、必要時相談していくことを目標としていきたい。

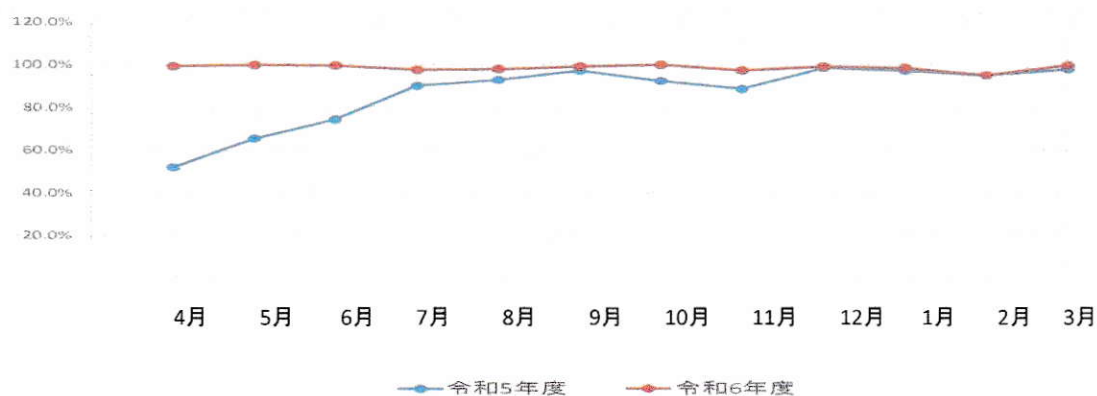
# (11)訪問マッサージ

訪問マッサージは、身体的な部分での改善はもちろん精神的なケアを含め、導入を希望される入居者様やご家族が多い。嘱託医も訪問マッサージ導入に積極的なため、往診時に提案があり、ご家族へ同意を得て、開始となる場合も多い。また、訪問マッサージの担当者から有意義な情報を得られることがあったり、職員が不明な点を専門職の方へ聞けることはメリットである。ただ、導入のための書類が遅れてしまうことがあるため、嘱託医と連携し速やかに開始できるよう協力していく。

# (12)健康管理について

入居者様は入院を希望される方が少ないため、できるだけ施設で対応していくためには、嘱託医と密に連絡を取り、重症化を予防していくことが必要であると考えている。前年度に引き続き、嘱託医へ早期報告・相談をし、重症化を予防する事を心がけていく。また、新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症の予防も引き続き行っていくが、入居者様だけでなく、職員の健康管理やマスクの着用も促し、クラスター予防のための感染症訓練も継続していく。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和5年度	1200	1240	1200	1240	1240	1200	1240	1200	1240	1240	1160	1240	14640	12240
	624	815	896	1120	1154	1169	1148	1065	1225	1208	1102	1216	12742	1062
	52.0%	66%	75%	90%	93.1%	97.4%	92.6%	88.8%	98.8%	97.4%	95.0%	98.1%	87.0%	87.0%
令和6年度	1200	1240	1200	1240	1240	1200	1240	1200	1240	1240	1120	1240	14600	12240
	1193	1240	1197	1213	1216	1191	1240	1169	1231	1222	1067	1236	14415	1201
	99.4%	100%	99.8%	97.8%	98.1%	99.3%	100.0%	97.4%	99.3%	98.5%	95.3%	99.7%	98.7%	98.7%
前年比	569	425	301	93	62	22	92	104	6	14	-35	20	1673	139
	47.4%	34.3%	25.1%	7.5%	5.0%	1.8%	7.4%	8.7%	0.5%	1.1%	0.3%	1.6%	11.7%	



※令和6年度は入院者や入院日数が少なく、新規入居に関しても退居から平均5.7日で入居することができており、迅速な入居に向けて待機者の面接や家族の意向確認など事前に行えることを意識して行った結果、平均利用率98.7%を達成することができた。



### 3. アクティビティ・クラブ活動の記録

アクティビティ・クラブ活動としては下記の活動を実施した。

リハビリなかま・音楽なかま・学習なかまはフロアごとに実施し、健康なかまは

ユニットごと、習字の会は希望者が実施するクラブ活動となった。

令和6年度は、壁画制作や季節の飾り(七夕やクリスマスなど)の制作活動も行った。

令和7年度は、制作活動もアクティビティ・クラブ活動として実施していく。

各アクティビティ、クラブ活動は、ご入居者が興味のある事に参加されており、意欲的に楽しみながら実施できた。

#### (1) アクティビティ・クラブ活動

活 動	場 所	内 容	対 象	年間実施回数
リハビリなかま	各フロア・ユニット	グループで楽しみながら、リハビリ(手足・嚥下体操など)を行なう	遊びリテーションに参加できる方	34回
健康なかま	各フロア・ユニット	仲間と体を動かして楽しむ(歌やゲームなど)	本人の意思により自分で体を動かすことができる方	各フロア・ユニット毎、合間の時間を使って実施
音楽なかま	各フロア・ユニット	音楽を通して仲間との交流を楽しむ	音楽を楽しみたい方	24回
学習なかま	各フロア・ユニット	学習を通し認知機能の維持向上を図る	学習への意欲がある方	47回
書道の会	会議室・ユニット	季節の文字を書き、作品作りを楽しむ	習字が好きな方	12回
手まめの会	各フロア・ユニット	壁画や季節の飾りをつくる制作を実施し作る事を楽しむ。個別に制作活動を楽しむ	制作に興味のある方	時期により実施 (R7年度は回数記録する)

#### 4. 行事参加

##### (つぐみユニット)

月日	行事名	内容	場所	入居者 参加数	家族 参加数
4月10日	桜見学	他の入居者や家族と花見をする	大口公園	10	
6月19日	紫陽花見学	近隣に紫陽花見学に行く	開成町あじさいの里	10	
6月23日	お誕生日会	6月・7月生まれの入居者の誕生会	つぐみリビング	10	
7月28日	おやつ作り	おやつを作りをしてアイスクリームを食べる	つぐみリビング	9	
8月25日	お誕生日会	8月・9月生まれの入居者の誕生会	つぐみリビング	8	
8月8日	夏祭り	夏祭りに参加して盆踊りや屋台を楽しまれる	多目的ホール	9	
9月14日	敬老会	式典や職員のダンス、ボランティアによるマジックショーを観る	つぐみリビング	10	
10月13日	お散歩	施設の外に出て散歩に行く	施設外	5	
10月20日	お散歩	施設の外に出て散歩に行く	施設外	5	
10月20日	おやつ作り	おやつを作りをしてクレープを食べる	つぐみリビング	9	
11月17日	お誕生日会	11月のお誕生日を開催して皆さんでお祝いをする	つぐみリビング	10	
12月14日	クリスマス会	クリスマス会を開催して楽しまれる マジックショーを見る	つぐみリビング	10	
1月1日	お正月	新年を皆さまでお祝いする	つぐみリビング	10	
1月24日	お誕生日会	1月のお誕生日会を開催して皆様でお祝いする	つぐみリビング	10	
2月23日	宅配寿司	宅配の寿司を注文して昼食に召し上がる。	つぐみリビング	10	

##### (つばめユニット)

月日	行事名	内容	場所	入居者 参加数	家族 参加数
4月10日	桜見学	満開の桜を見学して楽しんで頂く。	大口公園	10	
5月12日	誕生会	4月、5月誕生日対象者の誕生会	つばめリビング	10	
6月19日	紫陽花見学	紫陽花を見学して季節感を感じて頂く。	開成町あじさいの里	10	
7月21日	夏のおやつ作り	プリンアラモードを作る。入居者様にも手伝ってもらう。	つばめリビング	9	
8月8日	夏祭り	盆踊りや屋台を楽しまれる。	多目的ホール	10	
9月14日	敬老会	敬老会のお祝いをする。	つばめリビング	10	
9月22日	誕生会	8月、9月誕生日対象者の誕生会	つばめリビング	10	
10月13日	秋のおやつ作り	かぼちゃとあずきでおやきを作る。	つばめリビング	10	
11月10日	誕生会	10月、11月誕生日対象者の誕生会	つばめリビング	9	
12月14日	クリスマス会	クリスマスケーキ、お菓子を会食しゲームをして楽しむ	つばめリビング	10	
1月1日	お正月	新年をお祝いする。ミニゲームをする。	つばめリビング	10	
1月26日	誕生会	12月、1月誕生日対象者の誕生会	つばめリビング	10	
2月2日	節分	入居者と豆まきをする。	つばめリビング	10	
2月23日	宅配寿司	お寿司を注文して堪能する。	つばめリビング	10	
3月18日	誕生会	2月、3月誕生日対象者の誕生会	つばめリビング	10	



## (ひばりユニット)

月日	行事名	内容	場所	入居者 参加数	家族 参加数
4月11日	桜見学	他の入居者や家族と花見をする	大口公園	10	
5月26日	お誕生会	皆さんでお誕生月の方をお祝いする。	リビング	10	
6月7日	紫陽花見学	瀬戸屋敷を散策	瀬戸屋敷	10	
7月26日	お誕生会	皆さんで誕生日月の方のお祝いをする。	リビング	10	
8月8日	夏祭り	盆踊りやタコ焼きを食べたり楽しめる。	多目的ホール	10	
8月18日	おやつ作り	アイスにチョコレートや好きなものをトッピングし召し上がる。	リビング	9	
9月14日	敬老会	職員のダンスやマジックショーでお祝いする。	リビング	10	
9月21日	お誕生会	皆さんでお誕生月の方をお祝いする。	リビング	10	
11月24日	宅配寿司	メニュー表を見て各自好きなお寿司を召し上がる。	リビング	10	
11月27日	お誕生会	皆さんでお誕生月の方のお祝いをする。	リビング	10	
12月14日	クリスマス会	クリスマスケーキを召し上がりクリスマスソングを歌う。	リビング	10	
2月3日	節分	豆まきをする。	リビング	10	
2月24日	おやつ作り	フルーツ、生クリームでスポンジケーキをトッピングし召し上がる	リビング	8	

## (うぐいすユニット)

月日	行事名	内容	場所	入居者 参加数	家族 参加数
4月11日	桜見学	桜並木を見て季節感を味わっていただく。	大口公園	10	
4月27日	おやつ作り	パウンドケーキを作り、好みのトッピングをして召し上がる。	うぐいすリビング	10	
5月2～4日	菖蒲湯	端午の節句に合わせて菖蒲湯を行う。	浴室	10	
5月29日	誕生日会	誕生日の入居者様をお祝いしながらケーキを召し上がる。	うぐいすリビング	10	
6月7日	紫陽花見学	紫陽花を見ながら施設周辺の風景を楽しんでいただく。	瀬戸屋敷	10	
7月21日	誕生日会	誕生日の入居者様をお祝いしながらケーキを召し上がる。	うぐいすリビング	10	
8月8日	夏祭り	屋台の食べものを召し上がったり、盆踊りを楽しんでもいただく。	多目的室	10	
9月14日	敬老会	写真撮影や御祝い膳を提供し、敬老のお祝いをさせていただく。	うぐいすリビング	10	
10月22日	誕生日会	誕生日の入居者様をお祝いしながらケーキを召し上がる。	うぐいすリビング	10	
11月21日	おやつ作り	ベビーカステラを作り、好みのトッピングをして召し上がる。	うぐいすリビング	8	
11/1～11/30	散歩	一人ずつゆっくりと外気浴を行いコミュニケーションを図る。	施設周辺道路	9	
12月14日	クリスマス会	ケーキやお菓子を召し上っていただき、マジックショーを鑑賞。	うぐいすリビング	10	
12/19～21	柚子湯	冬至に合わせて柚子湯を行う。	浴室	10	
1月1日	新年祝い	新年の挨拶や、お祝い膳を召し上がっていただく。	うぐいすリビング	10	
1月1日	正月遊び	福笑いや、双六を行っていただく。	うぐいすリビング	10	
2月3日	節分	鬼に向かって豆まきを行い、甘納豆を召し上がっていただく。	うぐいすリビング	10	
3月20日	宅配寿司	出前を注文し、寿司や海鮮を召し上がっていただく。	うぐいすリビング	10	
3月23日	誕生日会	誕生日の入居者様をお祝いしながらケーキを召し上がる。	うぐいすリビング	10	



(2)家族のつどい

月日	内容	場所	入居者 参加数	家族 参加数
4月20日	料金改定について 令和6年度事業計画 人生の終え方について考える	2階多目的ホール	0	19 23人
10月26日	マイナンバーカードについて 身体拘束・虐待防止への取り組み、 DNARについて	2階多目的ホール	0	12 14人
3月15日 (令和7年)	食費の改定・加算取得について 来年度の事業計画について 訪問歯科について	2階多目的ホール	0	16 22人

(3)施設行事

月日	内容		場所	入居者 参加数	家族 参加数
8月8日	夏祭り	盆踊り・輪投げ・たこ焼き・アイス	2階多目的ホール	39	0
9月14日	敬老会	節目の祝い品贈呈 祝い菓子配布(紅白饅頭) 職員によるお祝いダンス マジック	各ユニットリビング	40	0

## 5. 栄養ケア・マネジメント

### ①低栄養状態の比較(令和7年3月31日現在)

単位: 人

	令和6年度
低リスク者	9
中リスク者	20
高リスク者	11

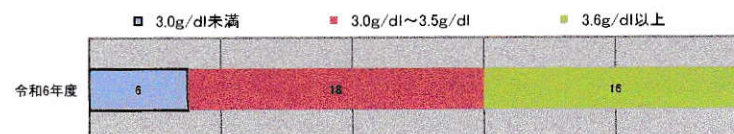


- ・全体的に中リスクと判断される入居者の割合が多い結果となっている。
- ・高リスクの方は病気の進行による体重急減少からの減少率悪化、加齢に伴う内臓の吸収力の低下やアルブミン値の低下が主な理由と思われる。都度状態変化(褥瘡、体重減少率、食事摂取量、BMIなど)に合わせてリスク判定し、必要な対応は実施している。

### ②血清アルブミン値の比較

単位: 人

	令和6年度
3.0g/dl未満	6
3.0g/dl～3.5g/dl	18
3.6g/dl以上	16



※令和6年の健康診断時の値

アルブミン値は健康診断時以外にも、医師の判断により必要時に測定しており、また入院の際の血液検査の結果からも都度栄養マネジメントにも反映してプランを作成している。低アルブミン値の方には、食事提供・摂取状況の確認、プロテイン付加等の対応を実施。その後の採血結果次第で付加対応が解除になる方もおり、一定の効果は得られていると思われる。疾患や加齢、服用されている薬により各種の対応を行っても低アルブミンの改善が難しい方も一定数いられる。

### 《栄養ケア・マネジメント 報告》

- ・各個人の状況はフロアからの情報を含めサービス担当者会議や医療ケア向上委員会を通し、多職種で把握、検討した。
- ・高リスク者には、食事提供内容や方法、提供栄養量の調整、嗜好品の取り入れ、栄養補助食品など、様々な対応を検討している。また、中リスク者においても、高リスクにならないよう予防策を講じ、早期対応を心掛けた。
- ・ターミナルケア対応の入居者には、体調を考慮のうえ、要望される品をできるだけ摂取できるよう対応している。
- ・間食・嗜好品等の提供を要望される方には既往(エネルギー制限・塩分制限等)や体調等も考慮し、内容や量などを検討・調整して提供している。
- ・体調・摂食状況の変化に合わせこまめな食事形態・食事内容の変更等行っている。
- ・食事委員会でもより入居者に安全に、好まれる食事や嗜好品等を検討するなどし、施設全体で取り組む姿勢ができています。
- ・R6.10.30 県の指導監査あり。書類提出とヒアリングにて指摘事項なしとの結果だった。

### 《食事・行事食報告》

- ・毎月、季節に合わせたイベント食を提供。お膳にはお品書きを用意し、7・9・10月は加算食献立のため利用者に普通食献立とどちらかを選択していただき提供した。
- ・行事食では普段と違う食材の提供もある為、委託会社と献立内容の検討や必要に応じて事前の試食等の行った。都度利用者の感想、スタッフへの聞き取りをし、今後への工夫点について把握するようにし対応を行った。
- ・食材費の高騰や社会情勢からくる食材の欠品等に対しては、委託会社と相談し都度調整しできるだけの対応を行った。

## 6. 地域福祉

令和6年度は、基本的な感染対策を講じ感染に注意をしながら、地域や個人のボランティア、市町村介護相談員の受け入れを実施した。

南足柄市健康フェスタが令和6年12月1日に開催され、「認知症チェック&相談」というブースを設置し地域の方が気軽に介護相談や認知症チェックをする場を設け、地域の方と触れ合う事ができた。

令和7年度も、感染対策を講じながら外部の方の受け入れを継続できるようにしたい。また、実習生の受け入れが可能であれば、福祉の人材育成に努めたい。

### 1. ボランティアの受け入れ

団体ボランティア(暁の星繕い物ボランティア)については、R5年度から継続して受け入れしている。個人ボランティアについては、感染対策を行い接触や飛沫に注意しフラダンスのボランティア、マジックボランティアの受け入れをした。ご入居者が喜ばれ、楽しみにして下さっている姿も多く見られたため、R7年度も感染対策を行いながら、受け入れを継続したい。

#### 【法人内に登録しているボランティア】

団体・・・暁の星(繕い物)、地域福祉会(秋祭りボラ)、中沼カラオケ会、中村座(演芸披露)

南足柄市民生児童委員高齢者部会(繕い物、掃除)

個人・・・傾聴ボランティア、書道ボランティア、ハンドマッサージボランティア

### 2. 施設介護実習・体験学習 受け入れ状況

R6年度の受け入れ無し。

R7年度は、基本的な感染対策を講じつつ受け入れをしていく。

### 3. 介護相談員受け入れ

法人として南足柄市、松田町、開成町の3市町村から介護相談員の派遣を受けているが、令和6年度は南足柄市のみ介護相談員の派遣受け入れを実施した。松田町、開成町は派遣依頼無し。



## 7.外部研修実績表

	研 修 参 加 名	参加延人数	延日数 (うちオンライン)
ケアマネジメント	ACP人生会議 自分らしく生を全うするための意思決定	1	1 ( 1 )
虐 待 防 止	制度を踏まえた虐待防止と身体拘束適正化の運営指針	1	1 ( 1 )
給 食 ・ 栄 養	特定給食施設従事者講習会他	5	5 ( 2 )
感 染 症 対 策	感染症対策官集会	1	1 ( 0 )
ユ ニ ッ ト ケ ア	ユニットリーダー研修	1	7 ( 3 )
支 援 ・ 相 談	認知症介護実践者研修他	6	12 ( 6 )
人 権	介護現場におけるカスタマーハラスメントについて他	2	2 ( 2 )
災 害 対 策	業務継続計画(BCP)策定後の研修について他	2	2 ( 1 )
経 営 ・ 管 理	経営戦略セミナー生産性向上推進体制加算について他	7	7 ( 4 )
計		26	38 ( 20 )

## 2. 各種委員会報告

### (1) 食事委員会

#### ① 委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
R6年4月16日	年間行事予定、5月行事食、新茶提供について	6人
5月21日	6月行事食、新茶の提供報告、嗜好飲料の調査について	9人
6月18日	7月行事食、食中毒の事例検討について	9人
7月16日	8月行事食、9月敬老会加算食について	7人
8月20日	9月行事食、イベント食事伝票提出、夏祭りについて	6人
9月17日	10月加算食、検食簿の記入、さくらフロアの食堂使用について	7人
10月15日	11月行事食、誕生会等のおやつ止めの食事伝票提出について	6人
11月19日	12月行事食、正月行事食について	5人
12月17日	1月行事食、正月のおやつ、どんどん焼きについて	7人
R7年1月21日	2月行事食、プロテイン使用、草の家の食器変更について	8人
2月18日	3月行事食、宅配寿司等の提供、カレーライスの提供方法について	6人
3月18日	7年度年間活動予定、行事食の予定、一年間の振り返り、4月行事食について、新商品の試食	7人

#### ② 一年を通しての成果、次年度に向けて

行事食の内容確認や感想など多職種で共有することができ、また、食事の味や提供方法な改善点を検討し対応することができた。今後も美味しい食事が提供できるよう検討していく。

### (2) 介護力向上委員会

#### ① 委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月4日	各フロアより困難事例報告。	8人
5月2日	各フロアより困難事例報告。	8人
6月6日	各フロアより困難事例報告。	7人
7月4日	各フロアからの困難事例より、今年度の研修内容検討。	7人
8月1日	今年度の研修内容決定。	8人
9月5日	大王製紙との打ち合わせ内容確認。	7人
10月3日	各フロアより困難事例報告。	7人
11月7日	各フロアより困難事例報告。	7人
12月5日	大王製紙研修実施。(おむつ・パットの基本的な使用方法)	8人
1月9日	研修を実施しての振り返り。研修を受けてからの各フロアでの見直し	7人
2月6日	研修後の各フロアでの見直し。各フロアより困難事例報告。	7人
3月6日	今年度の振り返りと、次年度への課題。	4人

#### ② 一年を通しての成果、次年度に向けて

・研修を外部の専門にお願いすることで、おむつやパットの使用方法について、分からないや、再確認することができ良かった。各フロア内でも研修については評価されている。ただ、時間に制限があり、細かい内容が研修として出来ず職員からも、基本だけではなくもっと違った行い方なども教えて欲しかったと意見が多くあがった。次年度も内容は異なっても、外部研修を実施してほしいと思う。

### (3)環境整備委員会

#### ①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
R6 4/19	新リーダーへの引継ぎ、2階ベランダの外周掃除	2人
R6 5/17	2階ベランダの外周掃除	1人
R6 6/21	ユニット2階ベランダのゴミ拾い	2人
R6 7/19	ユニット2階ベランダのゴミ拾い	2人
R6 8/16	ユニット1階、吹き抜けの掃除	2人
R6 9/20	各ユニットの冷蔵庫、換気扇の掃除	2人
R6 10/18	2階ベランダの掃き掃除	3人
R6 11/15	2階ベランダの外周掃除	3人
R6 12/20	洗濯機の掃除	2人
R7 1/17	2階ベランダの外周掃除	2人
R7 2/21	2階ベランダの外周掃除	1人
R7 3/21	2階ベランダの外周掃除	2人

#### ②一年を通しての成果、次年度に向けて

中々メンバーが集まることが出来ずに、ほとんど清掃で、終わってしまった。  
外用の掃除用具が不足しているので購入していく

### (4)防災委員会

#### ①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月12日	役割分担と年間計画の検討 BCP読み合わせ	14人
5月10日	非常食の確認 6月防災訓練に向けて	14人
6月14日	非常用発電機確認 BCP机上訓練	16人
7月12日	6月25日実施防災訓練の振り返り 防災キャビネット確認、BCP読み合わせ	17人
8月9日	火災報知器誤作動発生の振り返り 防災キャビネット確認、総合訓練に向けての内容確認	18人
10月11日	防災訓練内容確認 防災頭巾、防災キャビネット確認	15人
11月8日	11月総合訓練について確認 防災物品在庫確認、不足物品の購入検討	16人
1月10日	ひだまり防災キャビネット確認 BCP机上訓練	12人
2月12日	委託業者と事業所の連携について確認、非常用発電機確認 夜間通報訓練について、BCP机上訓練実施について研修動画	12人
3月14日	夜間通報訓練について、防災キャビネット備品在庫管理 一年間の振り返り	12人

#### ②一年を通しての成果、次年度に向けて

次年度への課題として、非常時に委託業者との連携をスムーズにし、食事の提供が滞りなく行えるよう、連携を図っていく。併せて、BCP策定が終了し、実際に即した内容となっているかを、防災訓練などを通じてブラッシュアップしていく。



## (5) 拘束虐待防止委員会

### ①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月3日	・自己点検チェックシート集計結果確認と意見交換	6人
5月1日	・法人における拘束についての指針（身体拘束等適正化の指針の確認） ・様々な場面での拘束について（オムツいじりをしてしまう方の対応等） ・施設内のケース検討と今後の対応について	7人
6月5日	・事業所における虐待の防止に関する基本的考え方 ・自己点検チェックシートの結果をもとに対応の検討	6人
7月3日	・他施設で実際に起こった身体拘束について ・二階、ご入居者様からの訴えについて ・身体拘束等適正化の指針の確認	6人
8月7日	・つぐみユニット入居者、家族から頂いた意見について ・ひばりユニット、つばめユニットのケース検討	5人
9月4日	・身体拘束等適正化の指針の読み合わせ ・スピーチロック、対応時の言葉かけについて	7人
10月2日	・つばめユニットのケースについて ・動画視聴、動画内の虐待内容について検討 ・虐待につながりやすい事例や事柄について、職員間で共有	7人
11月6日	・ドラックロックを考える ・減薬後の入居者の振り返り ・今後に向けて	8人
12月4日	・身体的虐待について ・他施設での虐待事例を通じて ・超低床ベッドについて	8人
1月8日	・臥床中のベッドの高さについて確認 ・ケース検討	7人
2月5日	・自己点検チェックシート(R7年1月集計)結果について	7人
3月5日	・自己点検チェックシート(R7年1月集計)結果について（先月の会議からの続き）	7人

### ② 一年を通しての成果

・神奈川県高齢者虐待に関わる一斉点検(自己点検シート)で得た結果をもとに委員会、ユニット会議を通じてケアの振り返り、現状の課題について話し合う事で日々のケアに活かすようにしている。また、多職種でのケース検討や、他施設の事例について学ぶ事で多角的な視点で話し合いが行えたと思います。

## (6) 研修委員会

### ①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月1日	4月ビデオ研修担当者割り振り 5月の研修内容検討	7人
5月6日	5月の研修内容について(緊急時対応マニュアル)	6人
6月3日	6月、7月の研修内容検討(食中毒予防、リスクマネジメント)	6人
7月1日	6月の研修内容について(食中毒予防)	6人
8月5日	7月、8月の研修内容検討(リスクマネジメント、認知症ケア)	5人
9月3日	7月の研修内容について(誤薬リスクについても含める)	7人
10月7日	8月、9月、12月の研修内容検討(認知症ケア、感染症対策、介護技術)	7人
11月4日	9月の研修内容について(感染症対策)	7人
12月4日	10月、11日の研修内容検討(拘束予防・虐待防止、口腔ケア)	7人
1月6日	9月の研修内容について(感染症対策でマニュアルを持参してもら)	7人
2月3日	10月、11日の研修内容検討(拘束予防・虐待防止、口腔ケア)	6人
3月3日	11月の研修内容検討(口腔ケア)	6人
4月1日	12月の研修内容について(大王製紙職員による研修)	6人
5月6日	1月の研修内容検討(ストレスケア)	6人
6月3日	1月の研修内容について(ストレスケア)	6人
7月1日	2月、3月の研修内容検討(ターミナルケア、拘束・虐待防止)	7人
8月5日	2月の研修内容について(ターミナルケア)	7人
9月3日	3月の研修内容検討(拘束・虐待防止)	9人
10月7日	来年度の研修検討	

### ②一年を通しての成果、次年度に向けて

1年を通して毎月職場内研修をすることや、ひだまりと草の家に分けてビデオ研修が受けられるように整えられた。次年度は、外部研修動画を施設内研修にうまく取り入れていくことが課題としてあげられる。

## (7)褥瘡委員会

### ①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月13日	褥瘡発生状況の確認	6人
	褥瘡発生のリスクのある入居者について	
6月8日	褥瘡発生状況の確認	5人
	褥瘡発生のリスクのある入居者について	
8月10日	褥瘡発生状況の確認	6人
	褥瘡発生のリスクのある入居者について	
10月12日	褥瘡発生状況の確認	6人
	褥瘡発生のリスクのある入居者について	
12月22日	褥瘡発生状況の確認	6人
	褥瘡発生のリスクのある入居者について	
2月8日	褥瘡発生状況の確認	6人
	褥瘡発生のリスクのある入居者について	

### ②一年を通しての成果、次年度に向けて

褥瘡が発生していない月が何か月か続いたことがあり、日々の継続したケアの効果がでていたと思われる。

次年度も引き続き、多職種と情報共有をすることで褥瘡発生のリスクの高い方に焦点をを当てて褥瘡発生・悪化の予防に努めていく。

また、褥瘡の悪化が見られた際には、その都度多職種と連携を取りさらに悪化しないように対策をしていく。

## (8)医療ケア向上委員会

### ①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月17日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計6名	6人
5月15日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計5名 入居者様の健康診断以外の採血について検討	7人
6月19日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計7名	7人
7月17日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計6名 口腔ケアマネジメント計画書について 入居前健診の項目について	7人
8月21日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計5名 往診医へ相談予定者の確認	7人
9月18日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計3名 往診医からご家族への面談予定者の確認	6人
10月17日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計4名	7人
11月20日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計6名 糖尿病の方の採血について	5人
12月18日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計11名 入居者様健診の結果の報告 ご家族からの連絡確認	6人
1月15日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計6名 管理栄養士より約束食事箋についての説明	6人
2月19日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計5名 就前薬についての検討 計3名	5人
3月17日	高リスク者等確認 個別ケース検討 計4名 往診医へ採血で栄養に関わる項目の依頼について	7人

### ②一年を通しての成果、次年度に向けて

前年度、同様、多職種で活発な話し合いをすることが出来ていた。担当者会議内で話し合い決定した事項の結果を報告し対応を検討したり、内服薬の調整について話し合ったり等、積極的な話し合いが出来ていた。ターミナルの振り返りに関しては、各ユニットでの話し合いが遅れてしまった事もあり、委員会内で話し合う機会が減少してしまった。この点に関しては、次年度への反省としていきたい。



# (6)感染症対策委員会

## ①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月15日	1. 周辺の感染症流行状況の確認 2. 草の家ひまわりフロアで起こったケース検討 3. マニュアル見直しについて 4. 草の家さくらフロアにて新型コロナ発症ケース机上訓練	10人
7月12日	1. 神奈川県・施設内の感染状況確認 2. 抗原検査キットについて 3. N95マスクについて	11人
7月18日	1. 施設内新型コロナ感染状況	5人
8月22日	1. 施設内新型コロナ感染状況 2. 夏祭りの実施	7人
8月30日	1. 施設内新型コロナ感染状況	5人
9月24日	1. ユニット1F感染状況確認と対応確認 2. デイサービス感染状況確認	5人
9月30日	1. ユニット1Fの対応について	6人
10月21日	1. 神奈川県内感染症発生状況 2. 施設内新型コロナ感染状況 3. BCPに基づく感染症対策シミュレーション	10人
10月23日	1. 感染状況確認 2. 対応検討	6人
1月20日	1. 感染症流行状況確認 2. 感染症発生時の対応確認 3. 職員向け検査キット配布確認	10人

1年を通しての振り返り、次年度に向けて

今年度もノロウイルス感染症の発生はありませんでした。インフルエンザは国内での流行が見られましたが施設内では数名の職員の罹患のみで重症化もなく入居者の罹患はありませんでした。新型コロナ感染症については10月にむくげフロアで職員1名と入居者7名の感染拡大がありましたが、重症者が出る事なく収束しました。その他では各フロアで職員・入居者の単発的なコロナ陽性者は出ましたが、重症化はせず感染拡大することもなく収束しています。次年度も「感染者が出てしまうのは仕方がなく、感染拡大させない事が大切である」という五類以降後の考えに基づき、引き続き適切なマスクの着用、手指消毒、換気などの基本的な感染予防策を続けていくことが必要となります。また定期的な訓練やシミュレーションを実施していきます。



## (10)事故対策委員会

### 会議開催状況

- ・月1回の事故対策委員会で、事故レベル3から5の集計報告。事故報告の中から、重大事故や困難ケースを事例検討として取り上げ、フロアで検討された事を基に、再度委員内の多職種で傾向と対応策を検討。再発防止についても他の方法があればフロアへ情報提供し共有した。
- ・月1回の事故対策委員会で事故レベル2の集計報告。多数挙げられたケースや今後も同様に挙げられる可能性のあるケースについてはフロアへ危険性を呼び掛けた。
- ・ひやり・はつとについての集計報告。重大事故につながる可能性のある事例についてはその都度、対策委員会で多職種で検討した。また、フロア会議でも議題として取り上げ、振り返りをし意識を高めた。

会議開催数 12回 速報回覧数 0件 市町村報告 9件  
(病院への受診、服薬に関する事故は保険者である南足柄市、対象となる市町村へ報告している)

### 事故の主な傾向と対応策の検討

- ：事故分析 転倒・転落事故が33件、外傷事故が62件、誤薬事故が2件、バルーン抜去事故が3件、異食事故が3件、その他の事故が9件報告されている。
- ：所見別事故分析 骨折事故が3件、創傷事故17件、打撲事故が15件、外傷無しの事故が31件、その他の事故が5件、内出血が41件報告されている。
- ：発生場所別事故分析 居室での事故が37件、トイレでの事故が12件、リビングでの事故が38件、浴室での事故が20件、その他での事故が5件報告されている。
- ：時間別事故パターン分析 時間別事故パターンとしては、日中の外傷事故、転倒転落が多く認められていた。外傷については、入浴介助や排泄介助時に全身観察を行い気付く事も多い。
- ：発生状況別事故分析 自立動作中の事故が56件、介助中事故が35件、トイレ時の事故が2件、その他の事故が19件報告されている。

カテーテル抜去事故2件を報告している。

骨折については、自立動作中の転倒・転落での受傷と排泄介助中の受傷で、その都度ユニットを中心に検討、対応策について他職種で話し合い状況にあった対応策を実施している。

誤薬誤配・与薬もれについては、確認を怠った事による事故であり対応策を検討し実施している。

誤嚥窒息については、聞き取り調査や市町村への相談等実施し、ご家族へも時系列で詳細な説明を行った。

バルーン抜去については、抜去された状態で確認された事故であった為、事故原因が不明であり、考えられる原因等を会議内やユニット内で検討し、想定に対しての対策も検討し実施している。

- ・ユニット会議や研修で事故の傾向や事故情報を共有することで振り返りし、スタッフ間の意識を高め、事故の再発防止や減少につながるようにしていきたい。
- ・ヒヤリハットの報告数は全体で152件だった。

#### 【事故レベル2 報告】

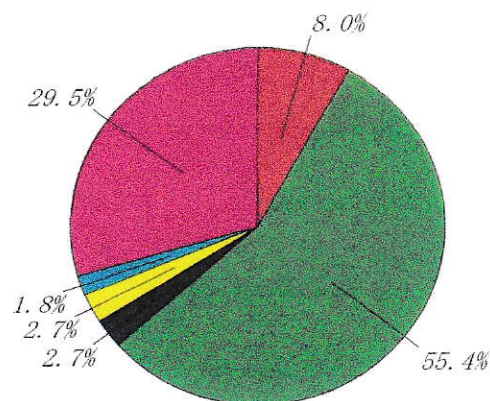
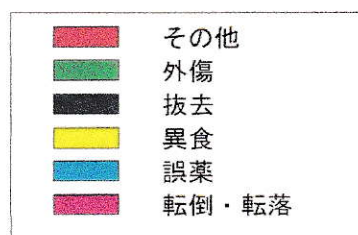
1.転倒	5
2.転落	9
3.接触による外傷	26
4.内出血	62
5.剥離	5
6.熱傷	0
7.窒息	1
8.異食	12
9.利用者間トラブル	1
10.行方不明	0
11.誤薬誤配	7
12.その他	14
合計	142

#### ※その他

- ・バルーンチューブが折れたりしていたことなどにより尿漏れした
- ・食事の配膳ミス
- ・物品の破損
- ・酸素供給装置の電源を入れるのが遅れた

## 【 事故分析 】

処理日：令和 6年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月31日 利用者：全  
集計対象：全



〔施設全体〕 (件)	
転倒・転落	33
外傷	62
誤嚥・誤飲	0
誤薬	2
抜去	3
異食	3
その他	9
合計	112

### ※その他

- ・事故経緯等が不明が5件
- ・在宅酸素の設置遅延が2件
- ・内服薬の消失が1件
- ・集音機の破損が1件

〔つばめユニット〕 (件)	
転倒・転落	9
外傷	25
誤嚥・誤飲	0
誤薬	2
抜去	0
異食	0
その他	1
合計	37

〔つぐみユニット〕 (件)	
転倒・転落	7
外傷	17
誤嚥・誤飲	0
誤薬	0
抜去	0
異食	0
その他	1
合計	27

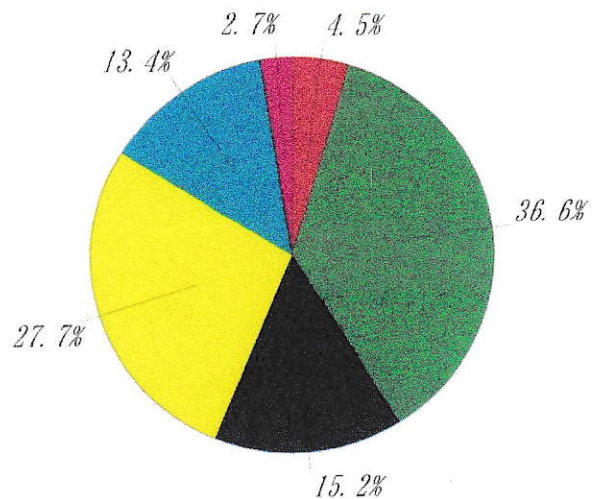
〔ひばりユニット〕 (件)	
転倒・転落	5
外傷	10
誤嚥・誤飲	0
誤薬	0
抜去	0
異食	1
その他	6
合計	22

〔うぐいすユニット〕 (件)	
転倒・転落	12
外傷	8
誤嚥・誤飲	0
誤薬	0
抜去	3
異食	2
その他	1
合計	26



## 【 所見別事故分析 】

処理日：令和 6年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月31日    利用者：全  
集計対象：全、全



〔施設全体〕 (件)	
骨折	3
創傷	17
熱傷	0
打撲	15
外傷なし	31
内出血	41
その他	5
合計	112

※その他  
・バルーン抜去が3件  
・坐剤の追加開始遅れが1件  
・下肢腫脹が1件(打撲か不明の為)

〔つばめユニット〕 (件)	
骨折	0
創傷	6
熱傷	0
打撲	9
外傷なし	7
内出血	14
その他	2
合計	37

〔つぐみユニット〕 (件)	
骨折	1
創傷	6
熱傷	0
打撲	4
外傷なし	5
内出血	11
その他	0
合計	27

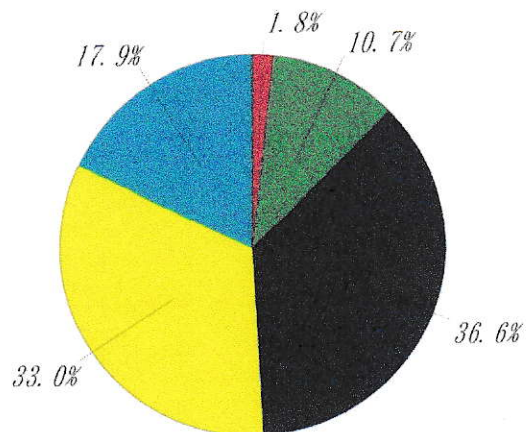
〔ひばりユニット〕 (件)	
骨折	0
創傷	3
熱傷	0
打撲	0
外傷なし	7
内出血	11
その他	1
合計	22

〔うぐいすユニット〕 (件)	
骨折	2
創傷	2
熱傷	0
打撲	2
外傷なし	12
内出血	5
その他	4
合計	26



## 【 発生場所別事故分析 】

処理日：令和 6年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月31日 利用者：全  
集計対象：全、全



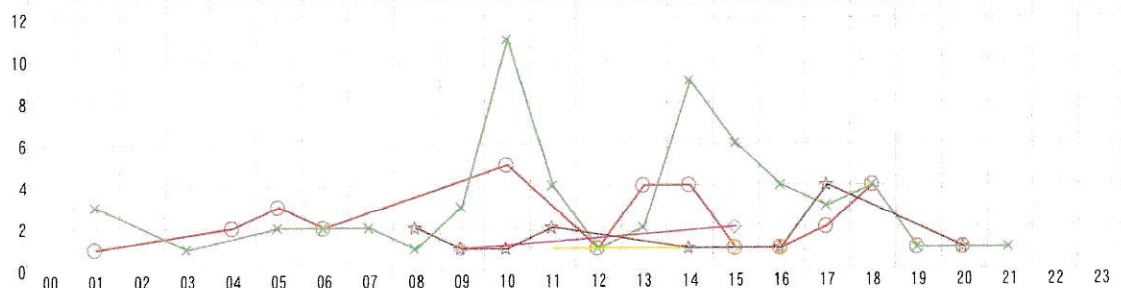
〔施設全体〕 (件)	
居室	37
トイレ	12
リビング	38
浴室	20
その他	2
合計	112

※内出血は発見した場所で記録している  
※その他  
・廊下が1件  
・医務室が1件

## 【 時間別事故パターン分析 】

### 時間別事故パターン分析

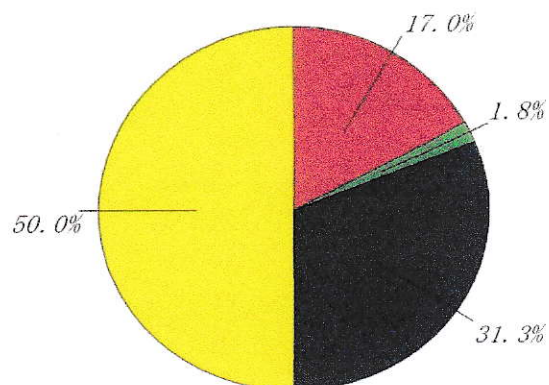
処理日：令和 6年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月31日 利用者：全利用者  
集計対象：事故



	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
転倒・転落		1		2	3	2					5		1	4	4	1	1	2	4	1	1			
外傷		3		1	2	2	2	1	3	11	4	1	2	9	6	4	3	4	1		1			
誤嚥・誤飲																								
誤薬											1					1	1							
抜去																1	1							
異食									1							2								
その他								2	1	1	2				1		1	4			1			
窒息																								

## 【 発生状況別事故分析 】

処理日：令和 6年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月31日 利用者：全  
集計対象：全、全



〔施設全体〕 (件)	
自立動作中	56
介助中	35
トイレ中	2
その他	19
合計	112

※その他

- ・ヒヤリハットで上げた事例後に内出血を認めた
- ・経緯が不明の為、自立動作中か介助中か不明
- ・職員起因の事例(内服薬消失)

〔つばめユニット〕 (件)	
自立動作中	17
介助中	15
トイレ中	1
その他	4
合計	37

〔つぐみユニット〕 (件)	
自立動作中	19
介助中	6
トイレ中	0
その他	2
合計	27

〔ひばりユニット〕 (件)	
自立動作中	6
介助中	6
トイレ中	0
その他	10
合計	22

〔うぐいすユニット〕 (件)	
自立動作中	14
介助中	8
トイレ中	1
その他	3
合計	26

## 9. 会議実施状況

会議名	参加対象者	実施回数
職員会議	全職員	0
幹部会議	主任以上	11
リーダー会議	リーダー以上	24
ユニット会議	各ユニット職員	40
入退居調整会議	委員	12
サービス担当者会議	各職種	182

## 10. 職員在籍状況(令和7年3月31日現在)

職 種	常勤	非常勤	派遣	合計
施 設 長	1	—	—	1
生 活 相 談 員	1	—	—	1
介護支援専門員	1	—	—	1
介 護 職 員	12	4	3	19
医 師	—	1	—	1
看 護 職 員	2	—	—	2
管 理 栄 養 士	1	—	—	1
機能訓練指導員	(兼務1)	—	—	0
事 務 員	1	—	—	1
そ の 他	0	3	—	3
合 計	19	8	3	30



# 11. 令和6年度 保守点検

設 備 名	点検内容	日 付	実施業者	備 考
エレベーター				
ひだまり	リモート点検	毎月1回	三菱電機ビルソリューションズ(株)	
	定期点検	3ヶ月1回	〃	
合併浄化槽				
ひだまり	保守点検	R6.6.13	あしがら環境保全(株)	
〃	〃	R6.9.7	〃	
〃	〃	R6.12.12	〃	
〃	〃	R7.3.10	〃	
〃	設置状況検査	R7.3.17	神奈川県保険協会	
プロパンガス				
ひだまり	ガス設備点検	3年1回	神奈川県LPガス保安センター	
		前回 2023/12/17		
消防用設備				
全館	定期点検	R6.9.27	(株)三栄防災	
	〃	R7.3.14	〃	
館内消毒		4/16.5/21. 6/19.8/21. 10/22.11/19. 12/3.2/18		
全館	ゴキブリ・ネズミ調査・駆除		(株)横浜サンセルフ	年間スケジュールに基づく
専用水道(井戸)				
井戸処理水	9項目(一般細菌他)	毎月1回	(株)ウェルシイ三菱ケミカルアクアソリューションズ(株)	50項目実施月は除く
〃	50項目(一般細菌・塩素酸・化合物他)	3ヵ月毎		5月・8月 11月・2月
井戸原水	2項目(大腸菌他)	3ヵ月毎		5月・11月・2月 (8月は除く)
〃	40項目(大腸菌・一般細菌他)	年1回		8月

## 12. 令和6年度 防災訓練報告

	訓練の概要
令和6年6月25日	◎防災訓練(消火訓練・避難訓練・通報訓練)
10:00～11:00	1 想定・・・日中時間帯震度6強、それに伴う施設館内停電
	2 内容
	①震度6強、建物自体に大きな損傷はないが、停電、断水が発生。
	②地震が発生した場合の安否・情報伝達を確認する。
	③停電発生時の初動・情報伝達確認
	④受傷者の確認・危険個所の確認・報告(ガラスの破損棚の転倒、エレベーター内に閉じ込め有無など)
	3 災害時自動通報連絡電話通話確認
	4 講評……………理事長
令和6年11月13日	◎地震・火災訓練(通報訓練)
10:00～11:00	1 想定・・・日中時間帯震度6強、それに伴う施設館内停電及び火災発生(初期消火)
	2 内容
	①震度6強、建物自体に大きな損傷はないが、停電が発生。
	②地震、停電発生に伴う安否・情報伝達の確認。
	③ひだまり1階洗濯室から火災が発生したと想定し、消防署・職員への連絡系統・招集、招集
	④非常通報装置による消防への通報訓練、コールバックへの対応訓練
	⑤ガスの屋外元栓の場所確認
	3 講評……………理事長
	4 各職員への安否確認メール配信
令和7年 3月 27日	◎夜間火災訓練(通報訓練)
10:30～11:30	1 想定……………夜間帯に1階洗濯室より火災発生
	2 内容
	①ひだまり1階洗濯室から火災が発生したと想定し、消防署・職員への連絡系統・招集、招集
	②近くの非常ベル作動(押す)することによる消防への通報訓練、コールバックへの対応訓練
	③安否確認メール送信 (24時までに出勤可能者への依頼含む)
	④BCP発動したと想定の上、初動の確認、復旧への動きについて机上訓練
	3 災害時自動通報連絡電話通話確認
	4 講評……………理事長